

修学旅行は、

『のりくらへ行こう！』



独立行政法人 国立青少年教育振興機構
国立乗鞍青少年交流の家
 自然と語り

【修学旅行と交流の家のリンク】

○旅行・集団宿泊的行事、 修学旅行の教育的位置づけ

「平素と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、**集団生活の在り方**や**公衆道徳**などについての望ましい体験を積むことができるような活動を行うこと」

(中学校学習指導要領 第5章 特別活動、
高等学校学習指導要領(抜粋))

『自然』

北アルプスの乗鞍岳を背景に白樺林に囲まれた**標高1,510m**の乗鞍高原での宿泊体験や野外体験ができる。

乗鞍青少年交流の家

『文化』

“**飛騨の小京都**”と称されている古い町並みでの見学学習。**上高地**、世界遺産の**白川郷**へも訪れることができる。

『まなび』

「思考判断表現」「他者理解」「社会参画」などの人間性を養う。
屋内外で**様々な体験活動**や文化・郷土・食を学ぶ活動ができる。

モデルプラン

活動プログラムは、団体の日程や目的に応じて所員がアドバイスします。ぜひ、ご相談ください。

	6:00	8:00	10:00	12:00	14:00	16:00	18:00	20:00	22:00	
【夏季】										
1日目			高山市内散策・昼食			入所	夕食	星座観察	入浴	振り返り 就寝
2日目		起床 清掃	朝食	晴:ハイキング 雨:クラフト・館内レク	昼食	退所	次の研修地へ移動			
【夏季】										
1日目			高山市内散策・昼食			入所	夕食	星座観察	振り返り	入浴 就寝
2日目		起床	朝食	乗鞍岳登山			入浴	夕食	キャンプファイヤー	振り返り 就寝
3日目		起床	朝食	食材オリエンテーリング・野外炊事		退所				
【冬季】										
1日目			入所	昼食	スキー合わせ・スキー		入浴	夕食	クラフト	振り返り 就寝
2日目		起床	朝食	スキー			入浴	夕食	キャンドルサービス	振り返り 就寝
3日目		起床	朝食	退所	高山市内散策・昼食					

活動メニュー

<自然体験>

- ・登山（丸黒山・乗鞍岳・上高地など） ・ハイキング
- ・オリエンテーリング ・野外炊飯（カレー・BBQ・パエリアなど）
- ・キャンプ場テント泊 ・クラフト ・室内レク
- ・ディスクスローイングゴルフ ・ウォールクライミング
- ・キャンプファイヤー／キャンドルサービス ・星空観察
- ・スキー ・雪上ハイキング ・雪上そり



<文化体験>（外部講師含む）

- ・高山市内散策 ・白川郷見学
- ・そば打ち ・五平餅作り
- ・ピザ焼き ・塩せんべい焼き
- ・さるぼぼ作り



<所外での学び>（交流の家からの片道移動時間）

- ・高山市内（上三之町）（50分）
- ・乗鞍岳畳平（1.5時間） ・上高地（2時間）
- ・飛騨国分寺（50分） ・国史跡高山陣屋（50分）
- ・まちの博物館（50分） ・高山飛騨の里（50分）
- ・世界遺産白川郷（1.5時間） ・飛騨大鍾乳洞（50分）
- ・飛騨牛乳工場見学（1時間）

（活動について詳細は、お気軽にお尋ね下さい）

新型コロナウイルス感染症対策

- ・全利用者にご利用日の14日前からの検温や、新型コロナウイルスに感染した方及び感染の疑いのある方との濃厚接触者ではないことを確認のうえ、来所をお願いしています。
- ・宿泊室、および活動エリアのスペースにゆとりを持たせるため、宿泊室はできるだけ間隔を空けられるよう配慮しています。
- ・1日2回（起床時、就寝時）の検温と健康観察をお願いしています。
- ・こまめに館内の換気・消毒を行っております。
- ・館内ではマスクの着用を徹底し、館内の各棟及び各活動場所には定員を設けています。
- ・食堂の座席は一人一人パーティションで仕切っています。

（乗鞍青少年交流の家のHPに新型コロナウイルス感染症対応関連書類や施設利用ハンドブックを掲載しております）

教育旅行等誘致促進事業（高山市） （割引クーポンの交付）

【対象】高山市内外の小・中・高等学校、特別支援学校などが実施する高山市内での宿泊を伴う修学旅行など。

【内容】教育旅行で高山市内に宿泊する児童生徒に対し、一人あたり1,000円分の商品券を配布（予定発行総額が達し次第、終了）

【期間】令和3年8月1日（日）～令和4年2月28日（月）

【問い合わせ】

〒506-0815

岐阜県高山市岩井町 913-13

国立乗鞍青少年交流の家

TEL 0577-31-1013

FAX 0577-31-1025

<https://norikura.niye.go.jp/norikura/>

担当：長屋・安江